

俳句と書のコンクール
筆で書く五七五

三輪田米山プロフィール (1821～1908)

三輪田米山さんは、江戸時代に生まれ、明治時代に活躍をした、日尾八幡神社(松山市久米)の神主さんでした。米山さんは筆書きの名人で、愛媛県内の神社の入り口にある鳥居やしめ縄を張った石に神社の名前やめでたい言葉をたくさん書いています。また、お酒が大好きで、お酒を飲んだ後に大きな紙に大きな文字を書き、その自由な書きぶりが人の心をつかんでいます。実は、お金持ちの庄屋さんから中国の書籍を借りて手習いを一生懸命しています。努力の末に、現代の日本中の人を引きつけるすばらしい書道作品が書けるようになったのです。

事前確認事項

- ☐ 俳句は未発表の自分の作品ですか。
- ☐ 用紙は書道用半紙の大きさですか。
(書道用半紙:タテ約32.5cm×ヨコ約24cm)
- ☐ 作品の記入方法はありますか。
- ☐ 用紙を細かくたたまず、なるべく大きめの封筒で送ってください。

令和3年
7月21日(水)
9月17日(金)
※必着
募作品



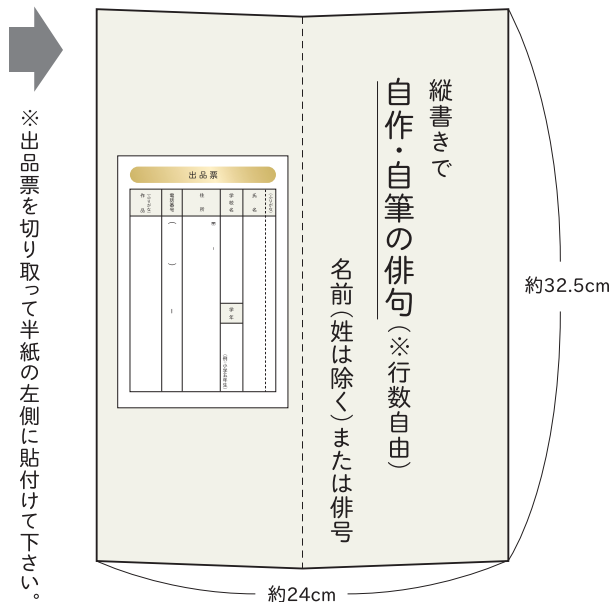
▼こちらの出品票に記入し、半紙の左側に貼付けて下さい。

出品票

作 品 (ふりがな)	電話 番号	住 所	学 校 名	氏 名	(ふりがな)
	()	〒			
	()				
			学 年		
					(例・小学五年生)

書道用半紙の右半分に作品を書き、
左半分に出品票をお貼りください。

【書道用半紙 縦二つ折り】



応募締切

令和3年9月17日(金) 必着

送付先

☎790-8571 松山市二番町4-7-2
三輪田米山生誕二百年記念事業実行委員会
(松山市 文化・ことば課内)